

# 資料3

## 令和3年度 深谷市地域公共交通会議 (埼玉県深谷市) (地域内フィーダー系統確保維持事業)



### 地域の公共交通等の現況

本市では、広域的な移動手段であるJR高崎線と秩父鉄道の2つの鉄道で計7駅が整備されており、この鉄道と結節する地域間移動の足として、市内に民間路線バスが2路線運行されている。コミュニティバス「くるりん」は、これらを補完する役割として平成12年度から本格運行しており、平成31年3月には「深谷市地域公共交通網形成計画」を策定し、「市民活動と移動を支える持続可能な公共交通ネットワークの形成」を基本方針として定め、その基本方針に基づき令和2年度より現運行を開始している。

### 交通計画の目指す概要／地域公共交通に関する施策・取組の概要

今後、さらに進行する人口減少・高齢社会に対応し、高齢者や運転免許を持たない交通弱者の移動手段を確保するため、鉄道及び民間バス路線を維持確保しつつ、これらを補完するコミュニティバスにより交通空白地帯の解消を図り、市民にとって質の高い生活を維持するためにも、都市拠点、地域拠点、交流・連携拠点等を中心に結ぶとともに、市外への移動も視野に入れて、広域的な結びつきを強化する公共交通のネットワークの形成をめざす。

### 交通施策として実施した事業の全体像の概要

深谷市コミュニティバス「くるりん」の現運行は令和2年4月から開始し、深谷駅と主要拠点を結ぶ速達性の高い直行型の運行ルートとしている定時定路線と、市内全域を運行区域とするデマンドバスを運行している。利用者の利用促進につなげるため、住民からの依頼があった際には随時、コミュニティバスの利用方法について出張講座を開催し、適切な利用を促しつつ周知を行っている。

### 補助対象事業の概要

既存の鉄道路線及び民間路線バスを市内又は市外の地域を結ぶ地域間交通ネットワークとして位置づけ、コミュニティバスは深谷市全体を広く網羅する交通手段として運行する。交通空白地帯を解消するため、JR高崎線の深谷駅を中心に定時定路線を4路線運行(内1路線が補助対象)するとともに、市内を北部地区、南部地区、岡部地区、川本地区、花園地区の5地区に分けてデマンドバスを運行している。

令和3年8月に『深谷市コミュニティバス「くるりん」デマンドバス再編計画』を策定し、本計画に基づき令和4年4月よりデマンドバスの再編運行を予定している。

#### 【コミュニティバス「くるりん」定時定路線】

【北部シャトル便】

事業者名:花園観光バス(株)

運行系統:北部シャトル便①7.0Km②7.3Km

運行本数:北部シャトル便 20便/日

#### 【コミュニティバス「くるりん」デマンドバス】

事業者名:花園観光バス(株)、深谷タクシー(有)

運行区域:北部、南部(花園観光バス(株))

岡部、川本、花園(深谷タクシー(有))

運行日:毎日運行(12月29日~1月3日運休)

運行本数:ダイヤを設定せず予約に応じて運行

運行車両:ワンボックス車両(9人乗り)5台

運賃:1乗車200円(令和2年4月~)

面積	138.41 km <sup>2</sup>
人口 (R3.4.1時点)	142,556 人
15歳未満	16,907 人
65歳以上	42,006 人
高齢化率	29.4 %
世帯数	61,048 世帯

### 交通計画の策定年月日

平成31年3月26日

### 協議会開催状況

- (主要なもの)
- ・第1回(5月6日)  
令和2年度決算及び  
令和3年度歳入歳出予算について
  - ・第2回(5月20日)  
デマンドバス再編計画(案)について
  - ・第3回(6月25日)  
地域公共交通確保維持改善計画について
  - ・第4回(8月27日)  
デマンドバス新運行  
運行事業者との協定締結について

## 前回の事業評価結果の反映状況

- ・ 市民アンケート、公共交通利用者アンケート調査実施
- ・ 深谷市地域公共交通網形成計画の進行管理
- ・ 深谷市コミュニティバス「くるリン」再編計画の進行管理
- ・ 深谷市コミュニティバス「くるリン」デマンドバス再編計画の策定

## 定量的な目標・効果

### 【目標】

- i) 利用者数の増加 65,676人
- ii) 利用者満足度の上昇 前年度調査以上の満足度
- iii) 収支率の向上 14.5%

### 【効果】

- i) 交通空白地帯の解消
- ii) 交通弱者の目的地までの足の確保
- iii) 鉄道や民間路線バスとの連携によるネットワーク構築
- iv) 財政負担に配慮した持続可能な交通体系の実現



## 目標の達成状況・事業によって得られた効果

### 【利用者数の増加】 利用者数:37,769人

- ・ 新型コロナウイルス感染症の拡大や国の緊急事態宣言の発令による不要不急の外出自粛、テレワークの推進などにより利用者が減少し、目標を達成することができなかった。

### 【利用者満足度の上昇】

○定時定路線:達成5、未達成1 (単位:%)

	①バス停	②行き先	③運行本数	④運行時間	⑤定時性	⑥運賃
R3	69.6	69.6	26.1	52.2	78.3	65.2
R2	55.8	45.9	43.5	44.9	58.2	58.7
前回比	13.8	23.7	▲17.4	7.3	20.1	6.5
目標	達成	達成	未達成	達成	達成	達成

○デマンドバス:達成6、未達成0 (単位:%)

	①バス停	②予約システム	③予約センター	④予約電話	⑤運行時間	⑥定時性	⑦運賃
R3	70.6	50.6	71.8	71.8	74.1	65.9	64.8
R2	53.3	48.3	53.1	49.1	49.6	53.8	55.9
前回比	17.3	2.3	18.7	22.7	24.5	12.1	8.9
目標	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成

- ・ 利用者満足度は13項目中12項目が前回調査の結果を上回り、満足度の向上を図ることができた。今後も引き続き利用者アンケート等を通じ利用者のニーズを把握し、利便性の向上に努めていく。

### 【収支率】

収支率:7.5%

- ・ 利用者の減少によって運賃収入も減少し、目標数値を大幅に下回った。

## アピールポイント

- ・ 定時定路線は深谷駅で相互に乗継ができるようダイヤを編成している。
- ・ 買い物・通院に利用しやすい運行ルートにするため、市民が日常的に利用する主要な商業施設・医療機関を通る運行ルートにしている。

## 今後の改善点

新型コロナウイルス感染症の影響により減少した利用者数の回復を目指し、感染症対策に配慮したコミュニティバス運行を継続する。

また、利用者満足度の上昇については概ね目標を達成したが、満足度の向上が見られなかった定時定路線の運行本数など、改善すべき項目については今後も調査を継続し、必要に応じて増便等の対応を検討していく。

今後も地域における望ましい公共交通ネットワークを示すため、感染症対策に配慮したコミュニティバス運行に努めるとともに、利用者満足度の更なる向上を目指し、適宜再編運行を実施していく。